「純型肺動脈閉鎖症の遠隔予後と潜在的心筋虚血の検証」

１．研究の対象

2005 年 1 月～2020 年 12 月に当院で純型肺動脈閉鎖症の手術を受けられた症例

２．研究目的・方法

純型肺動脈閉鎖症はいまだ治療戦略に余地が残る疾患群の一つである。特に右心系が小さく、単心室循環に向かう症例においては右室と冠動脈を交通する類洞交通が残っている症例が多数観察され、心筋虚血のリスクが高く、治療戦略を慎重に検討する必要がある。ただし、単心室循環に向かう純型肺動脈閉鎖症の症例の遠隔期予後やフォンタン手術を達成したのちの心筋虚血の潜在的なリスクに関してはいまだ十分な検証がなされていない。本研究ではこれら疾患群における類洞交通の経時的な変化を検証するとともに、フォンタン手術を達成したのちも含めて遠隔期の虚血性イベント、死亡率などを検証することで本疾患群の診療の一助としたい。研究期間は 2023 年 11 月 1 日から 12 月 31 日までとする。

３．研究に用いる試料・情報の種類

情報：疾患名、病歴、手術記録、カテーテル検査記録、心筋シンチグラフィー記録、術後経過記録等。

４．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合 4 丁目 3-17
TEL：022-391-5111（代表）
FAX：022-391-5118
研究責任者：宮城県立こども病院　心臓血管外科　正木　直樹